

〈みんな・みんな会員だより〉NO. 33 (2021. 5. 12)

上流は下流を思い、下流は上流に感謝する交流・連携を！

☆5月22日(土)午後1時30分から「ソーネ・おおぞね」ホールで、みんな・みんなの会の第11回総会を開催します。会員の皆さん、ご参加ください。

続いて、午後2時半過ぎから木曾川上下流交流・連携の集いを行います。

総会では①2019年度、2020年度活動報告 ②2019年度、2020年度会計報告(収支決算) ③「木曾川流域水源の里基金」の報告と今後の運用について ④2021年度活動計画 ⑤2021年度予算など、報告・提案します。

続いて、午後2時過ぎから木曾川上下流交流・連携の集いを行います。上流からは小池糰店(木曾町)・唐沢尚之さん、木祖村観光協会・圃中登志彦さん、下流からは日進市議・山根みちよさんに発題していただきます。“現状と交流連携のこれから”について、話し合いながら深めていきます。ご参加ください。

参加費は資料代などで800円です。よろしくお願いします。

「コロナ社会」の中で、つながり・関係づくりを持続的に目指していく

コロナの影響で木曾川・飛騨川流域でも、さまざまな催しが中止になりました。私たちは催しでの交流をきっかけとして、下流域の都市の人びとが上流域への「まなごしを向ける」、上流に関心も持って「出かけ、出会う」ことにつながっていくことを働きかけてきました。

“森は水の源、水は命の源、川は命のつながり”をモットーに、上流の山間地で暮らしながら森を守り、「水」を支えている人びとに感謝し、まなごしを向ける会として、木曾川流域の上下流交流・連携を目的にして、今日まで活動してきました。木曾川の恩恵を受けている日常の生活水を上流へのまなごしや感謝の気持ちを私たちの取り組みの糸口・原点としてきました。そのことを「川は、生命(いのち)のつながり」と言ってきました。

「コロナ社会」は、どうなっていくのでしょうか。コロナウイルスは「敵」なのでしょうか。気候変動や生態系への破壊によって、「コロナ社会」は生み出されてきました。地球は人間だけのものではありません。

都市(下流)と農山村(上流)の顔の見える交流を通じて、お互いを思いやる共感関係を育み、「関係人口」を創り出していきます。

“人が上流域に出かけ、上流域のモノが下流域に動き、お互いのココロが動く”関係が積み重なっていく木曾川上下流交流・連携を持続的に取り組みます。今後ともご支援・お力添えをよろしくお願いします。(事務局)

飛騨川沿い・七宗町の「豆釜匠」(飛水食品)に会いに行ってきました！

5月3日(月・祝)、「緑と清流の里」の岐阜県七宗町に行ってきました。この日に毎年恒例の赤池弁財天祭りの祭列を見ながら、知り合いになっている人との交流を行いたかったのですが、残念ながら昨年



てコロナの影響で中止になってしまいました。JR高山線の上麻生駅や「ロック・ガーデンひちそう(道の駅)」周辺を散策した後、飛騨川沿いの国道41号線を北上したところにある「豆釜匠」(飛水食品)の渡邊昇さんと語り合ってきました。もちろん、ところてん(写真)をいただきました。そこに添えられているお茶の美味しいこと！是非、ところてんと共にご賞味ください。



「コロナ禍でも交わること、人と会うことが人生の幸せだと思う」「生きて交わっていることが大事」「コロナの影響で時間が出来ているので、これを活用して

木曾へも出かけて行きたい」などと渡邊さんから話されました。こだわりのモノづくりをじっくりと営む渡邊さん。うれしい時間を過ごすことができました。

自分たちで作られた水車や伐採して植栽したもみじなどの木々を見学して帰路に着きました。

(かわさき)

4月17日 木曾町で春の蔵開き・まちびらきイベント

4月5日に開庁した木曾町の新庁舎の広い軒下を活用し、17日(土)午前10時から「蔵開き・まちびらき」をテーマに、お酒やお味噌、甘酒そして酒かすや糀を生かしたパン、クッキーなどの販売がおこなわれました。

当日は降りしきる雨にもかかわらず、庁舎内の見学もかねて「発酵の町」を発信する取り組みに多くの町民が訪れていました。

木曾町には小池糀店、中善酒造、七笑酒造をはじめとして、多くの発酵とかかわる生産者がおります。

「すんき」はもちろパンやお菓子には発酵が欠かせません。更に酒蔵や味噌とのコラボで新しいパンやクッキーづくりに挑戦されています。これからの発展がますます楽しみです。



このイベントのおこなわれた木曾町新庁舎にある大きく広い軒下は「出し梁造り」(写真)という木曾の伝統様式の家づくりを活かしたものです。おかげで傘を差さずに買い物ことができました。

新庁舎の中は木の香りに包まれ、高い天井にはカラマツのきれいな木目がくっきりとして、床は栗の木、壁にはヒノキなど地元の木材を多く使い、冷暖房には木質チップボイラーを活用するそうです。

5年10年するとさらに味わいある庁舎になることと確信します。(近藤 進)

<お知らせ>

☆8月27(金)、28(土)、29(日)の3日間にわたって、第47回木曾音楽祭が木曾町の木曾文化公園ホールで開催される予定です。5月31日に開催の有無を決定するそうです。

☆6月5日(土)に開催予定の「なごや水フェスタ」は、残念ながら中止となりました。

☆「みんなの会」ニュース17号でお知らせしましたが、5月29~30日から「大豆作り・味噌づくり」が始まります。

「みんなの楽作隊」への参加、木祖村の畑の作業に参加希望の方は 近藤 (090-4150-6156) までご連絡ください。日帰り参加も歓迎です。

<新年度会費をお願いします>

みんなの会では、2021年6月から2022年5月末日が、2021年度の期間です。会員の皆さんの会費やカンパなどによって、みんなの会の活動は支えられています。本年度の会費納入をお願いします。

2008年9月に第1回の「水源の里を守ろう 木曾川流域集会」の開催に始まり、木曾川流域水源の里基金の設立や「木曾川流域図」作り、そして、大豆作り・味噌造りなどを取り組んで今日に至っています。

木曾川上下流交流・連携をゆっくりと持続的に一層進めていきます。皆様のご支援、ご協力をお願いします。

水源の里を守ろう 木曾川流域みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 斎藤事務所気付
TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 mail: suigenosato@gmail.com